グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスを展開します

Cloud Manager

Tom Onacki
March 22, 2021

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/us-en/occm/task_deploy_gfc_edge_instances.html on May 17, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスを展開します 1
作業を開始する前に 1
グローバルファイルキャッシュ仮想テンプレートを展開します 1
グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスを構成します 2
Global File Cache Edge ソフトウェアを更新します 3

グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスを展開します

環境がすべての要件を満たしていることを確認したら、各リモートオフィスにグローバルファイルキャッシュエッジソフトウェアをインストールします。

作業を開始する前に

グローバルファイルキャッシュエッジの設定作業を完了するには、次の情報が必要です。

- 各グローバルファイルキャッシュインスタンスの静的 IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイの IP アドレス
- 各グローバルファイルに割り当てる FQDN キャッシュサーバ
- DNS サフィックス（オプション）
- の管理ユーザのユーザ名とパスワード ドメイン
- 関連付けられたコアサーバの FQDN または IP アドレス
- インテリジェントファイルキャッシュとして使用するボリューム。アクティブデータセットの 2 倍以上のサイズを設定することを推奨します。これは NTFS 形式でフォーマットされ、「 D ： \ 」として割り当てられている必要があります。

よく使用される **TCP** ポート

グローバルファイルキャッシュサービスで使用される TCP ポートがいくつかあります。デバイスはこれらのポート上で通信可能であり、 WAN 最適化デバイスまたはファイアウォール制限ポリシーから除外される必要があります。

- グローバルファイルキャッシュライセンス TCP ポート： 443
- グローバルファイルキャッシュ TCP ポート： 6618-6630

グローバルファイルキャッシュ仮想テンプレートを展開します

仮想テンプレート (`.ova および `.vhd') イメージには ' グローバルファイルキャッシュソフトウェアの最新リリースが含まれています「 .ova 」テンプレートまたは「 .vhd 」仮想マシン（ VM ）テンプレートを使用してグローバルファイルキャッシュを導入する場合は、このセクションで説明する手順を実行します。指定されたハイパーバイザプラットフォームに '.ova または '.vhd' テンプレートを導入する方法を理解していることを前提としています

リソースリザベーションを含む VM 環境設定が、に記載された要件に適合していることを確認します "仮想導入の要件"。

手順

1. ダウンロードしたテンプレートからパッケージを展開します。
2. 仮想テンプレートを導入します。導入を開始する前に、次のビデオを参照してください。

- "VMware に仮想テンプレートを導入します"
- "仮想テンプレートを Hyper-V に導入します"

3. 仮想テンプレートを導入し、 VM を設定したら、 VM を起動します。
4. 初回ブート時、 Windows Server 2016 または 2019 オペレーティングシステムの初回使用準備が完了したら、正しいドライバをインストールし、該当するハードウェアに必要なコンポーネントをインストールすることで、すぐに使用できる環境を実現します。
5. グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスのベースインストールが完了すると、 Windows Server 2016 または 2019 オペレーティングシステムの初期設定ウィザードに従って、ローカリゼーションやプロダクトキーなどのオペレーティングシステムの仕様を設定できます。
6. 初期設定ウィザードが完了したら、次のクレデンシャルを使用して Windows Server 2016 または 2019 オペレーティングシステムにローカルでログインします。
   - ユーザ名： * FASTAdmin*
   - パスワード： * Tal0nFAST!*
7. Windows Server VM を構成し、組織の Active Directory ドメインに参加して、グローバルファイルキャッシュエッジ構成セクションに進みます。

グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスを構成します

グローバルファイルキャッシュエッジインスタンスは、グローバルファイルキャッシュコアに接続して、ブランチオフィスのユーザにデータセンターファイルサーバリソースへのアクセスを提供します。

設定を開始する前に、 Cloud Volumes ONTAP 環境の一部として Edge インスタンスのライセンスを取得しておく必要があります。を参照してください "ライセンス" ライセンスの詳細については、を参照してください。

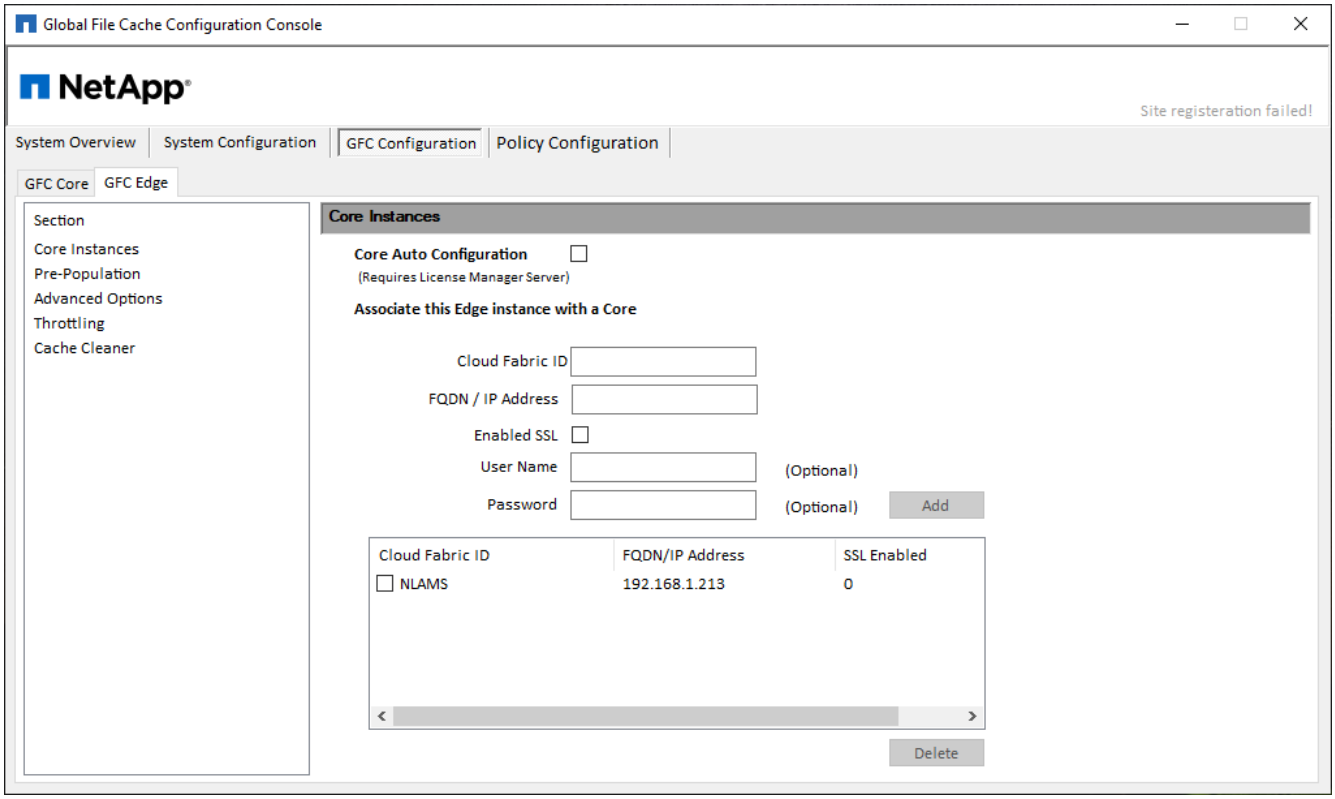
多数の Edge インスタンスがあるために複数のグローバルファイルキャッシュコアをインストールする必要がある構成の場合は、一部の Edge インスタンスを最初の Core に接続し、他の Edge インスタンスを 2 番目の Core に接続するように構成します。正しい Core インスタンスの FQDN または IP アドレス、およびその他の必要な情報があることを確認します。

Edge インスタンスを設定するには、次の手順を実行します。

手順

1. Initial Configuration Assistant の「 Edge Configuration Steps 」セクションに記載されているチェックされていない Core Configuration ステップの横にある * Perform * をクリックします。新しいタブ GFC Edge が開き、セクション _Core インスタンス _ が表示されます。
2. グローバルファイルキャッシュコアサーバのクラウドファブリック ID * を提供します。通常、クラウドファブリック ID は、バックエンドファイルサーバの NetBIOS 名または地理的な場所です。
3. グローバルファイルキャッシュコアサーバの * FQDN/IP アドレス * を指定します。
   a. （任意） [**SSL**] ボックスをオンにして、 Edge から Core への拡張暗号化のための SSL サポートを有効にします。
   b. ユーザー名とパスワードを入力します。これは、 Core で使用されるサービスアカウントの資格情報です。

4. Add * をクリックして、 Global File Cache Core アプライアンスの追加を確認します。確認のボックスが表示されます。[OK] をクリックして閉じます。



Global File Cache Edge ソフトウェアを更新します

グローバルファイルキャッシュでは、ソフトウェアのアップデート（パッチ、拡張機能、新機能）が頻繁にリリースされます。仮想テンプレート（「 .ova 」および「 .vhd 」）イメージには、 Global File Cache ソフトウェアの最新リリースが含まれていますが、新しいバージョンを NetApp Support Download ポータルで入手できる可能性があります。

グローバルファイルキャッシュインスタンスが最新バージョンであることを確認します。

このソフトウェアパッケージは、 Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition または Datacenter Edition 、 Windows Server 2019 Standard Edition または Datacenter Edition 上の初期状態のインストールにも使用できます。また、アップグレード戦略の一環として使用することもできます。

Global File Cache インストールパッケージを更新するために必要な手順は、次のとおりです。

手順

1. 最新のインストールパッケージを目的の Windows Server インスタンスに保存したら、それをダブルクリックしてインストール実行可能ファイルを実行します。
2. 「 * 次へ * 」をクリックして処理を続行します。
3. 「 * 次へ * 」をクリックして続行します。
4. ライセンス契約に同意し、 [次へ] をクリックします。

5. 目的のインストール先の場所を選択します。

   デフォルトのインストール場所を使用することを推奨します。

6. 「 * 次へ * 」をクリックして続行します。
7. スタートメニューフォルダを選択します。
8. 「 * 次へ * 」をクリックして続行します。
9. インストールの選択を確認し、 * Install * をクリックしてインストールを開始します。

   インストールプロセスが開始されます。

10. インストールが完了したら、プロンプトが表示されたらサーバをリブートします。

グローバルファイルキャッシュエッジの高度な設定の詳細については、を参照してください "『 NetApp Global File Cache User Guide 』を参照してください"。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP “AS IS” AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at http://www.netapp.com/TM are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.